

『一生懸命』幻の新座市議会報告第174弾!



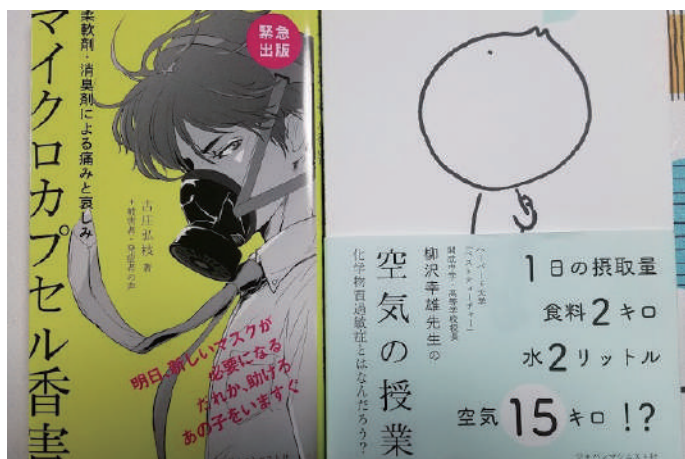
たかむらともや

③ マイクロカプセルの恐怖・・・

6月議会では「マイクロカプセルの恐怖」を取り上げました。今、柔軟剤、芳香剤、消臭剤、洗剤などによる「香害」に苦しむ人々が激増しています。実は僕自身が、ある「洗剤」で気持ちが悪くなりました。

前から「タバコの煙」や特別な「消臭剤」には気持ち悪くなっていたのですが、これはおかしいぞ・・・絶対に何かがある。そう、思って「香害」のことを色々調べました。「香害」に苦しむ人達から話を聞き、「香害」に関する本を数冊読みました。その結果、分かったことが「マイクロカプセルの恐怖」です。実は「香り」が問題なのではなく、その香を包んでいるマイクロカプセルが問題なのです。そのマイクロカプセルの大きさは、PM2.5より少し大きく、破裂して匂いをまき散らすと、小さくなります。当然、鼻や口から肺に直接取り込まれ、血管に入っていきます。マイクロカプセルはイソシアネートという「猛毒」でできています。イソシアネートはトルエンの1万倍も毒性がある物質なんです。どうりで気持ち悪くなる訳です。問題は、テレビで宣伝されているこの「匂い」が非常に「危険」な物質で包まれていることを知らない人が多いことです。(僕自身もつい最近まで、知りませんでした。)あのコマーシャルを見ていると、匂いが長続きしていいと思っても不思議はありませんが・・・

自分の子ども達によかれと思って、洗剤や柔軟剤、消臭剤を使っているお母さんが、実は子ども達の脳を傷つけているのです。この本を読むと匂いに対する意識が変わります。是非読んでください。



2019年6月30日発行



今回もテニスの親友達との写真です！右が宗ちゃんで真ん中がちゃーちゃん。テニスをやるだけではなく、教育と人生を語れる最高の仲間です。③

たかやんのプロフィール



1954年、港区青山生まれ。

本名 たかむらともや

新宿区立西戸山小中学校卒。
都立石神井高から北大に進み
大学3年の冬、突然「教師」を目指す。昭和52年4月新設校
新座五中に赴任。五中・六中・

二中で21年間担任を続け、年間240号以上の学級通信「一生懸命」を書き続ける。その続編がこの幻の議会報告『一生懸命』である。

現在石神3丁目の「たかやん塾」で中高生達と「個別対応」「集団対応」の塾をやりながら、月に一度の黒目川の川掃除と7か所での駅立ちに燃えている。好きな言葉は継続は力なり。

好きな政治家はホセ・ムヒカ、バーニー・サンダース
田中角栄、山本太郎。好きな女優は新垣結衣、
ハン・ヒョジュ。最近、会ってみたい人は前川喜平。

写真は休日議会に来てくれた大好きだった先輩、
望月先生とのツーショット。この日は「新座少年少女合唱団」を指揮してくれました。もっちゃんの指揮と子ども達の綺麗な歌声を聴いていたら、自然と涙が出てきました。65歳のおっさんの心の中にも綺麗なものが流れているんですねえ。うふふふふ。③

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 残酷な税

6月議会の最終日。市民と語る会は「消費増税10%に反対」の意見書に賛成討論をしました。

消費税は「残酷な税」です。低所得者、失業者、年金受給者は勿論、赤字企業も払わなければならない税なのですから。しかも、トヨタなどの輸出大企業が払っている消費税はトータルで0円だということを知ってましたか。そう輸出大企業は今までに1円の消費税も払ってないのです。それどころか、反対に「還付金」という仕組みで1社で年間1000億以上が懐に入っていくのだからどうしようもありません。彼らや彼らに応援して貰っている政治家たちが「もっと消費税率を上げろ」と主張する理由はそこにあるのです。消費税が10%から20%になれば彼らが手にする「還付金」は倍になるのですから。

2017年4月～2018年3月における上位企業3社の売上高と還付金は次の通りです。

1. トヨタ 売上げ12兆2000億 還付金3506億
 2. 日産 売上げ 3兆7000億 還付金1509億
 3. ホンダ 売上げ 3兆7000億 還付金1216億
- これだけ儲けているのに、払った消費税は0円。

社会福祉の為の消費税というのなら、この大企業は日本の「全く社会福祉に貢献していない会社」ということになります。この3社を含めた、上位13社の還付金は年1兆円を超えます。「消費税」という仕組みは誰にとって都合がいいか分かるでしょう。

その大企業はその儲けた金を「内部留保」として400兆も蓄えてしまっているのです。

消費税の目的は「大企業の法人税率を下げる」ことであり、「富裕層の税率を下げる」ことです。宣伝しているように「社会福祉」に使われたり、「国の借金」の返済に使われることはありません。

そもそも「国の借金」という言葉に騙されてはいけません。日本国債は「円建て」であり、「破綻」することなどあり得ません。日本の対外純資産は341兆円以上。世界一のお金持ちなのです。そうでなかったら、ポンコツ戦闘機F35(1機147億)を100機以上買えませんよ。(金が余っていてもあり得ない)

国民の実質賃金さがり続けているのに「消費税増税はやむなし！」ではデフレから脱却できません。消費税を0にして、消費を増やし、財政出動して需要を増やし、景気を良くするのが筋です。

③ 教師を目指す人へのメッセージ1

94歳になった僕の母さんの夢は「生まれ変わったら、学校の先生になること」です。

『何の先生になるの?』と聞くと、「小学校の先生」と言います。『小学校の先生になって、何を教えるの?』と聞くと、「何でも」「色んなことを教えたい」『例えば?』「運動も勉強もなんでも」「戦争は絶対に駄目だってことも」『そうだよなあ。心配だよなあ。』「心配。戦争は絶対駄目。」戦前、戦中、戦後を生き抜いてきた大正女にとって、「戦争」程、嫌な出来事はなかったのでしょうか。池袋の小学生達を連れて、福島県に疎開した母さん。食糧事情が悪く、子ども達の世話をする寮母さん達には、それなりの食糧があったそうです。でも、子ども達が食べられない時は、自分も我慢して、一緒に痩せていった母さん。子ども達に寄り添うということは、どういうことか、二十歳の母さんは知っていたのだと思います。母さんは幼い時に父親を亡くし、貧しい家庭で育ちました。成績は学校で1番、足も足立区で1番速かったらしい。でも、貧しいから女学校にも行けず折角合格した夜間の学校も行けず、箱屋に奉公に行かされます。勉強したくて、勉強したくてしょうがなかったそうです。もしかしたら、母さんのその思いが僕を教師にしたのかも知れませんね。

母さんは今、僕の隣で眠りながら、きっと「先生」になるという夢を叶える準備をしているんだと思います。次の時代に生まれ変わって、きっと素敵な先生になるんだ! そう心に決めて、生まれ変わる準備をしているのです。母さんが生まれ変わる時代は貧しくても学べる時代であって欲しいですね。

母、高邑ひさ子の心臓が止まったのは6月議会の最終日19日の午後2時半のことでした。



読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m